

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスたいじゅの花			
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和7年11月17日		～	令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○安全確保に配慮した環境整備や支援計画のもと、安心して過ごせる居場所づくりができています	・活動を一方的に決めるのではなく、こどもが選択できる場面を設け、自己決定の力を育む支援を行っている ・落ち着いて過ごせる空間づくりを意識し、環境設定や声かけを工夫している	・職員研修や事例検討の機会を増やし、支援の質の向上と共通理解を図る
2	○不登校や情緒面に課題のあるこどもにも配慮し、無理のない利用につなげている	・強制せず、本人の意思を尊重しながら段階的に活動へ参加できる工夫をしている ・学校や家庭と連携し、子どもに合わせた柔軟なスケジュールや支援内容の調整を行っている ・少人数やペア活動の活用	・保護者との情報共有や相談の機会を充実させ、家庭と事業所が連携した支援を推進する
3	○日常生活や遊びの中で、社会性やコミュニケーション力を自然に身につけられる支援を行っている	・食事、着替え、掃除などの生活活動を通して、順番を守る・挨拶をするなどの社会的ルールを自然に学べるようにしている	・職員が具体的な言葉や行動のモデルを示し、こどもが自然に学べる環境設定を行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○環境面に制約がある ・スペースの構造の都合上、活動内容が制限される部分がある。	・活動スペースが限られ、運動遊びや集団活動の幅が狭い。	・環境面の工夫（家具配置、玩具整理、収納等）
2	○稼働率が不安定	・欠席者が多く、特定の曜日や時間帯に空きが出てしまい、稼働が安定しない	・集団・個別活動のバランスを工夫し、継続的に通いたくなる環境を整える
3	○職員の経験さによる支援のばらつきがある	・経験年数の違いにより、関わり方や声のかけ方、判断に差が出ている ・個別対応や振り返りの時間が十分に確保できていない	・支援方針や対応方法を共有する安定的なミーティングの実施 ・役割分担を明確にし、職員一人ひとりの強みを生かした配置の工夫